第６回 育児セラピスト全国大会 報告書

Are you Happy?

あなたの「ハッピーの素」は何ですか？

主催：一般社団法人 日本アタッチメント育児協会
後援：学校法人 大乗淑徳学園 淑徳大学 短期大学部
　　学校法人 関西女子学園 宝塚大学
協力：株式会社ハッピーチャイルド

DAY 1

スキルアップ研修
skill-up lecture

心を癒すコミュニケーション術

例年通り、全国大会一日目は、これまでの受講生のみなさんのスキルアップのための講座です。今年は「心を癒すコミュニケーション術」と題して、コミュニケーション・スキル向上のための研修を開催しました。

育児セラピストとして活動されている方の多くは、保護者つまり親御さんとのコミュニケーションについて、不安や問題を感じていらっしゃる方が多いと思います。また、相手に関わらず、自分自身のコミュニケーション・スキルをもっと高めたいと考えている方も多いようです。今回の講座の受講動機を見てみても、それは充分に伺えました。

この講座では、コミュニケーションの原則と構造を知ることで、人と人との言語を介したやりとり（＝コミュニケーション）において、何が起こっているのかを、体系的に理解します。その上で、まず「自分のコミュニケーション・スタイル」を知ることをします。つまり、自分の性格的特徴やコミュニケーションのクセを知るわけです。次に、「相手のコミュニケーション・スタイル」をパターン別にみていきます。ここでの「相手」とは、お母さんをはじめとする大人と、子どもの両方をそれぞれ見ていきます。そして、実際に実践で使う「コミュニケーション・スキル」を学びます。

実際に受講された皆さんの反応を見てみると、「自分を知る」というプロセスにおいて、多くの方が新たな発見や気付き、学びを持ち帰られたと、言っていただきました。これは、座学だけでなく、隣の方とのワークを交えて、自分一人では出来ない経験をされたこと、また、これだけゆっくりと時間をかけて、丁寧に「自分について考える」ことは、日常生活では出来ないことが、大きな要因だったことでしょう。

この「自分を知る」というプロセスは、コミュニケーションの上で、もっとも重要です。本などに書かれているコミュニケーション・スキルは、誰でも当てはまるかのように書か

れていますが、実際には、人によって使うスキルも、スキルの使い方も 100 人 100 色です。ですから、自分（あるいは自分が演ずる役割）に合ったコミュニケーション･スタイルを知った上で、はじめてスキルを使いこなすことが出来るのです。実は、多くの方は、それに気づいたから、「自分を知る」ことが、今回の一番の学びになったと感じたのだと思います。

また、カウンセリング・スキルのワークでは、6 ～ 7 割くらいの方が、「スキルを比較的うまく使えた」と実感されていたことが、非常に印象的でした。これは、ワーク制作者の私自身の予想を超えるものでした。これは、あくまで理論上の仮説にすぎませんが、「自分を知る」というプロセスを経た方たちだったため、それぞれが、スキルを自分なりに使いこなしたためではないかと考えます。

今回の講座によって、「コミュニケーション・フロー（流れ）が整った」方は、多いのではないかと感じています。相手とのやりとりにおける「滞りが解消された」と表現しても良いかもしれません。それは、劇的な変化ではありません。表面的には、ほんのちょっとした変化です。しかし、内面的には、大きな変化と言えます。

最後に、こんなことをお話しして、一日目のスキルアップ講座を終えました。

『コミュニケーションというのは、少し苦手で、少し不安な気持ちを持っているくらいがちょうど良いと思います。それが、相手との間に「適度な緊張感」を与えます。その緊張感は、相手を思いやり、相手に共感することを後押ししてくれます。だから、コミュニケーションが得意になる必要も、上手になる必要もありません。むしろ、その様な完成形は、存在しません。コミュニケーションは、いつでも生ものであり、相手によって、変わるもの。だから、いつもうまくいくわけじゃない。だから、おもしろいのだと思います。』

受講生の声

面識のない方や、年齢層の違う方などと接し、会話を進めたいときに自分の中での戸惑いや不安があって悩んでいました。自分をまず知ることの大切さ、そして自分をわかるようにする方法が必要だということ「相手を見立てる」ということについて、学習できてよかったです。
（事務職 47 歳 滋賀県）

ワークなどを通して、今抱えている悩みを解決することができました。それだけでも受講してよかったと思いましたし、子どもに対してどう接すればいいのか学ぶことができました。今後の活動にこのスキルを生かしていけるようがんばりたいです。
（看護師 30 歳 愛媛県）

コミュニケーションの難しさが、少しでも改善できたら良いなと思い、受講しました。自分を見直し、相手が見る自分を知ることができてよかったです。自分を受け入れてほしいように、相手も受け入れてほしいと願っていることを改めて考えさせられました。
（保育士 53 歳 福岡県）

「コミュニケーション」というと何となくハードルが高いものだと感じてしまうが、ワークをしてみるとそのハードルが下がり、思っていたより意外と気楽にできるものだと感じました。コミュニケーションの知識をもとに自分の意識改革で苦手を克服できそうです。
（主婦 35 歳 東京都）

この『心を癒すコミュニケーション術 講座』をさらに充実させて全国で開催いたします。詳細は当協会公式ホームページにてご案内しております。ご質問等ございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。
(社) 日本アタッチメント育児協会 事務局　TEL：052-265-6526(平日 9 時～ 18 時)　E メール：info@naik.jp

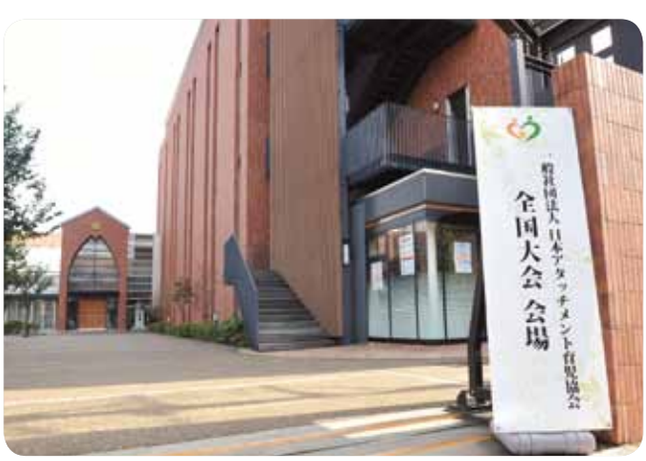
はじめに

2015 年は、はじめて東京と大阪の 2 会場で全国大会を行う運びとなりました。東京会場は、当協会の認定養成校の淑徳大学さんの東京キャンパスで、大阪会場は、同じく認定養成校の宝塚大学さんの大阪梅田キャンパスで行いました。

毎年のことなのですが、全国大会で何よりもうれしいのは、毎年足を運んでくださる方々や、何年もお会いしていなかった懐かしい方々と、年に一回顔を合わせてお会いできることです。今回は、東京と大阪の 2 会場で開催したことで、より多くの方とお会いすることができました。実際に、東京まで足を運ぶのは難しかった関西方面の方たちが、今回の大阪会場に来てくださり、初めての全国大会を体験していただくことが出来ました。そうして、最近受講いただいた方たちだけでなく、受講から 4 年、5 年経った方とも、ご縁がつながり続けていたことを確認できたことは、本当にうれしかったです。さらに、私のブログを読んでいただいていた方や、HP でのみ私のことを知って下さっていた方に、実際にお会いして、いろんなお話をすることも出来ました。今回ご参加いただいたすべての方と、お話出来たわけではありませんが、出来る限り多くの方とお話させていただき、本当にうれしい気持ちでいっぱいです。

みなさま、ありがとうございました。

（社）日本アタッチメント育児協会
代表理事　廣島　大三



東京・淑徳大学会場

大阪・宝塚大学会場

開会式

全国大会二日目は、例年通りシンポジウムでした。今年のテーマは

「Are you Happy？　～あなたの『ハッピーの素』は何ですか？～」

ということで、冒頭では、「ハッピー」についてお話させていただきました。ハッピーには大きく分けて 2 種類あります。一つは、「モノで得られるハッピー」、もう一つは「体験で得られるハッピー」です。

前者は、手にしたその時が最高潮であり、時間と共に薄れてしまいます。それに対して後者は、ずっと心の中に生き続け、時が経っても色褪せず、そのハッピーが再現できます。そして、そのハッピーは生きる糧となります。たとえモノに宿るハッピーであったとしても、それが体験に由来していれば、後者となります。たとえば、子どもの写真、小さいころに子どもが描いてくれた絵や、一緒に遊んだおもちゃなど、対象はモノでも、そのハッピーの出所は、子どもとの体験（思い出）です。

育児セラピストは、子育て支援を通して、後者の「体験で得られるハッピー」を作るお手伝いをしているのであり、同時に、私たちもその体験からハッピーをいただいています。つまり「ハッピーのやりとり」をしているわけです。それは、生きる糧になるし、時がたっても色褪せません。だから、みなさん、大変だけど続けられるし、苦労があっても、やっぱり楽しいし、ハッピーでいられるのではないでしょうか。

私たち日本アタッチメント育児協会は、そうした皆さんに、「分野・立場・年齢」をまたいだ「学びの場」を、これからも提供していきたいと、改めて感じています。この会場にも、保育、医療、看護、公共団体、個人教室、子育て中のママ、タレントさんなど、様々な分野の方々がいます。また、園長先生や施設長、看護師長など○○長の方から、中間管理職の方、現場の最前線の方まで、様々です。それに伴って、年齢も上は 70 代、下は 20 代までの方が、この場に一堂に会しています。このような場は、とても稀であり、貴重であると思います。そのような素晴らしい場が出来ているのも、ここに来て下さっている皆さんのおかげです。本当に感謝いたします。そして、皆さんの思いに応えられるだけの学びを、本日は持ち帰っていただきたいと思います。皆さんの「ハッピーの素」になるような体験をしていただける、そんな一日になることを願って、開会の言葉にかえさせていただきます。

優秀実践者表彰式・実践発表

今年は、午前中に優秀実践者の表彰式と優秀実践発表を行いました。今年の発表者は、タレントの SHEILA さんをはじめ、個性豊かな発表となり、また具体的な内容も盛り込まれ、大変参考になるものばかりでした。実際のアンケートでも、「優秀実践発表が、とても参考になった！」「私もやる気が湧いてきた」「こういう人たちの仲間でいられてうれしい！」といった感想を多くいただきました。

… ＡＢＭアタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター
… 育児セラピスト２級
… 育児セラピスト１級
… アタッチメント・ヨガ(forマタニティ＆ベビー) インストラクター
… アタッチメント・食育 インストラクター
… ＡＫＭアタッチメント・キッズマッサージ インストラクター
… ＡＧＭアタッチメント・ジム インストラクター
… あそび発達 インストラクター

優秀実践者の皆さん

■ 東京会場

■ 大阪会場

東京会場

子育て支援部門

SHEILA さん　タレント（東京都）

取得資格

「真摯にお母さんと向き合い、正しいことをわかりやすく伝える」

最初に発表していただいたのは、子育て支援部門の優秀実践者で、タレントの SHEILA さん。とってもフレンドリーな女性で、とっても真面目に育児のことを考えるママで、とっても親身な育児セラピストだということが伝わる発表でした。最初は、ご自身のブログの中で、読者から子育ての相談をされるようになり、それが現在のブログ育児相談の形に発展していきました。相談に乗るうちに、自分独自の考えややり方を伝えるだけでは、自信を持って相談に答えることは出来ない、と考えるようになりました。その頃、ベビーマッサージインストラクターとしても活動していましたが、ここでも、やり方を教えるだけでなく、きちんとした根拠や背景を伝えたいという思いが膨らみました。そうした思いで、子育てについて専門的な知識を学ぼうと考え、育児セラピストに出会いました。

まず、育児セラピスト２級を学んでみると、まさに「私が学びたかったのはこれだ！」と思い、その勢いで、続けて育児セラピスト１級まで学び、資格を取得しました。資格を取得して、自身がオリジナルでやってきた子育てや子どもへの対応法に裏付けと学術的根拠を得て、より納得のいく伝え方ができるようになったと実感した、と語られていました。そうした折に、

現在執筆中 (2015 年 11 月 15 日現在) の書籍の執筆依頼がありました。これまで、何度か育児本の執筆依頼をもらっていた SHEILA さんですが、これまでは、自分の育児を書籍にするなんて、おこがましい、と言って断っていたそうです。しかし、育児セラピスト 1 級を取得したのをきっかけに、多くのお母さんにハッピーな育児を伝えたい、という思いから執筆を引き受けたそうです。

SHEILA さんは、執筆に当たって、単に「SHEILA 流・育児スタイル」を伝えるのではなく、「どうしてそうする（しない）のが良いか？」「そうする（しない）ことで、どう良いのか？」について、しっかりと伝えることに力を注ぎました。そうして、一つのコンセプトにたどり着いたそうです。それが「OK 育児」＝「怒らないで、気をそらす育児」です。この考えは、育児セラピスト 2 級の学びがきっかけだったそうです。講座で島田講師から「3 歳までは、やってよいことと、やってはいけないことの判断がつかない」ということを学び、目からうろこが落ちた思いがしたそうです。これまでの育児観が、ひっくり返るほどの出来事でした。育児セラピスト 1 級で、「怒らないなら、どうすれば良いのか？」の答を得ました。それが「気をそらす」でした。そして、この考えは、児童精神科医の佐々木正美先生の「子どもへのまなざし」に由来することを知りました。つまり、「OK 育児」は、わかりやすい呼び名でありながら、その背景では、発達心理学の教えが裏付けされているのです。

今回の発表の中で紹介されている本
『ママが変わる！SHEILA の OK 育児でノンストレス』は
マイナビ出版より全国で発売されています

この「OK 育児」に代表されるように、SHEILA さんは、終始一貫して、ママたちにわかりやすい表現で、でも子育ての本質を伝えるような文章に、徹底的にこだわったそうです。私自身も、SHEILA さんの執筆のお手伝いをさせていただきましたが、とにかく細部にわたって、「この表現でいいのか？」「これは、発達心理学の文脈においても、正しいのか？」「この内容を、もっとわかりやすく伝えるには、どう表現したらいいのか？」と、最後まで推敲をあきらめない態度には、本当に感心させられました。

SHEILA さんを優秀実践者に選ばせていただいたポイントは、お母さんたちに大きな影響力を持つタレントさんが、真摯にお母さんと向き合い、正しいことを、わかりやすく伝えるために、ご自身も勉強され、責任感と使命感をもって伝えておられるところです。その姿勢は、書籍の執筆においても貫かれており、多くのお母さんの子育てを助け、ハッピーな子育てに導くことにつながる点に置いて、素晴らしい子育て支援を実践されています。

井口 愛弓さん　保育士（福岡県）

取得資格

「子育て支援を保育園の園児増加につなげる」

保育・幼児教育部門は、井口 愛弓さんです。井口（いのくち）さんは、福岡県みのり保育園の保育士さんで、2009 年から園併設の子育て支援センター「子育てサポートぷちとまと」の運営をされています。みのり保育園は、当時の園児数が 40 名くらいで、園児は減少傾向にありました。そうした中で、園児数増加の期待を背負って、子育て支援センターの立ち上げが決まり、運営者に井口さんが抜擢されました。

子育て支援事業では、就園前の 0 歳児から対象となります。最初は、何をやっていいのかを模索する日々でしたが、そんな中で、「子どもとどうやって触れ合ったらいいのかわからない」というお母さんが多いことがわかり、0 歳児でも親子で触れ合えるアクティビティとして、ベビーマッサージの導入を決め、アタッチメント・ベビーマッサージ資格を取りました。資格取得後に早速、子育て支援センターで実施しました。ベビーマッサージ教室をはじめてみると、いろんな年齢帯の親子に対応する必要があり、ベビーマッサージだけでは対応が限られてしまうと感じていました。そんな折に、6 歳までに対応するメソッドとして、キッズマッサージ、アタッチメント・ジムがリリースされました。井口さんは、早速東京まで出かけていき、資格を取得して、子育て支援センターに導入しました。こうして、0 歳児にはベビーマッサージ、1 ～ 6 歳児にはアタッチメント・ジムという現在の形が出来上がりました。井口さんのベビーマッサージ教室とアタッチメント・ジム教室は、地域でも評判が良く、毎回参加者が集まり、多い時は 20 人以上来ることもあるそうです。

これには、井口さんのポリシーが生きています。井口さんの教室は、予約なしで受け入れをしており、定員を設けていないのです。それは、お母さんたちが、気軽に参加できて、いつでも参加できて、断られることがない、そういう状況を作ってあげたいという運営者としての願いからでした。しかし、これは、運営者側からしたら、簡単なことではありません。しかも、教室の運営は、井口さん一人で行うことが前提だそうです。5 ～ 6 人の時は良いですが、ふたを開けてみたら 20 人だった、という時は、なかなか一人で対応するのは難しいものです。これに対応できているのは、井口さんが、2009 年から 6 年間、ずっとコンスタントに続けてきた経験が大きく活かされているのだと思います。何度も、続けて教室を開いているうちに、対応力が身につき、また大人数に対応できた自信が、さらなる対応力に繋がっているということだと思います。続けることのすごさを感じます。

また、井口さんは、ベビーマッサージもアタッチメント・ジムも、非常に基本に忠実に再現しておられます。特に、様々な年齢帯の子どもに、同時に対応する必要のあるアタッチメント・ジムにおいては、公式テキストを基に、独自に再編集して、使いやすくまとめられています。

こうした井口さんの姿勢が、地域のお母さんたちに受け入れられた結果、みのり保育園の園児数は、今では 70 人を数えるまでになったそうです。この 6 年間かけて、40 人から 70 人に園児数が増えている点も、非常に安定感があることが伺えます。6 年間という歳月を通して培った地域での信頼が背景となった結果の、園児数の増加だからです。井口さんの事例は、子育て支援事業が、保育園の園児の増加につながった好事例であり、これからの保育園の子育て支援事業のロールモデルとなる事例ではないかと感じました。

本郷 容子さん　子ども英会話教室主宰（群馬県）

取得資格

「『お母さんのために何かしてあげたい』という純粋な思い」

幼児教室部門は、本郷 容子さんです。本郷さんは、群馬県で子ども英会話教室を主宰されている英語の先生です。そんな本郷さんの教室には、小さいお子さんとお母さんが、英会話を学びに毎日のように訪れます。そうして、お母さん方とお付き合いしているうちに、なぜか育児相談会になってしまうことも多く、いつからか、本郷さんの教室は、お母さんたちの子育て相談所のようになっていきました。それなら、いっそのこと子育てサロンを開設して、悩めるお母さんにちゃんと対応しようと考えたそうです。

思い立ったら、即行動するのが、本郷さんの性格で、早速行動を始めたそうです。そこで、よく考えてみると、これまで多くのお母さんの育児相談に乗ってきたけど、自分は、子育てや子どもの発達に関して、専門的な知識も、体系的な知識も持っていないことに気付きました。そこで、発達心理学に基づくベビーマッサージが学べるということで、日本アタッチメント育児協会のアタッチメント・ベビーマッサージを受講し、資格を取得しました。そして、晴れて育児サロンをオープンし、早速ベビーマッサージ教室を開催しました。しかし、チラシまで出して告知したのに、最初に来てくれたのは、たった一組だったそうです。それでも、本郷さんは、友人や知り合いのツテを伝って、2 回、3 回とベビーマッサージ教室を開いていきました。スーパーで赤ちゃんを抱っこしているお母さんに、直接声かけして、教室に来てもらったこともあるそうです。

そんな風に活動していたら、地域の大きな病院の産婦人科で、ベビーマッサージ教室をやってくれないか、と頼まれました。これは、インストラクターとしての信頼につながると思い、引き受けました。行ってみると、20 組定員のところに 22 組の参加者という大所帯でした。ベビマ教室を始めて間もないインストラクターが、一人でこなすには、なかなかハードルが高かったと思います。大人 20 人、赤ちゃん 20 人の注目を集め、場をまとめるだけでも大変です。本郷さんは、ここで、気転を利かせて、英語であいさつをしました。これには、お母さんたちも意表を突かれ、注目してくれました。そして、その後も、英語を交えて、ベビーマッサージを進めていきました。これが功を奏して、22 組の場は、見事に一体感につつまれました。今の本郷さんの英語を交えたベビーマッサージのスタイルが誕生した瞬間でした。

その後も、本郷さんは、ベビーマッサージと様々なコラボ企画を、立て続けに実施していきました。そのどれも、お母さんの声を反映したものだったため、とても好評でした。例えば、「ベビマと骨盤矯正」、「ベビマとアロマ」。これらは、友人の整体師さんと、アロマエステシャンの方を巻き込んで開催したそうです。一緒にやってくれた友人たちも、お母さんが本当に喜んでくれていたので、とてもやって良かった、また呼んでください、と言ってくれたそうです。また、「ベビマと読み聞かせ絵本」というのもやったそうです。これは、海外の絵本や、あまり知られていない絵本を集めたもので、やはり、お母さんたちの興味を満足させるものだったそうです。こうして、「ベビマ＋英語」から始まった本郷さんのスタイルは、広がりを見せています。

私は、本郷さんの発表を聴いていて、なぜ、本郷さんのまわりにお母さんがたくさん集まるのかが、わかった気がしました。それは、本郷さんの心の中に、「お母さんのために、何かしてあげたい」という純粋な思いがあるからだと感じました。何かの狙いがあるわけではない、英会話教室の集客を狙っているわけでもない。ただ「お母さんのために、何かしてあげたい」という思いでやっているのが伝わるから、みんなが集まるのだと思います。

私は、本郷さんのこのスタイルは、やがて、一つの形になると思っています。井口さんの子育て支援センターと同じように、本郷さんの子育てサロンも、地域のお母さんの信頼を徐々に得て、それは、本業である英会話教室につながっていくのだと思います。そして、こうした年月をかけて獲得した信頼に基づく集客は、長期にわたって安定していて、堅い強固なものになっていきます。本郷さんの発表から、これからの「子育てサロンとビジネスの関係性」を見た気がします。

大阪会場

子育て支援部門

中澤 香代さん　ヨガ療法士（岐阜県）

取得資格

「市や教育現場との人間関係をベースにした多面的な活動」

中澤さんは、もともと親子ヨガを児童館、児童センター、市の子育て支援センターからの依頼で行っていました。親子ヨガを伝える中で、生徒さんからベビーマッサージも習いたいという要望を聞いたのがきっかけで、アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター資格を取得しました。

中澤さんのすごいところは、ベビーマッサージの資格を取得すると、すぐに依頼があり、早速ベビーマッサージ教室を各地の保育園や児童センター、児童館で展開されている点です。一体なぜ、それほどすんなりと、こうしたところからの依頼を得ることが出来たのでしょうか。

その秘密は、中澤さんの「つながり力」にあると、私は見ています。もともと、中澤さんは、母親クラブやお子さんの学校の PTA 活動に積極的に参加されていたそうです。それだけなら、それほど特別なことではありません。しかし、中澤さんがスゴイのは、母親クラブや PTA の活動を通して、先生や市の子育て支援事業担当者と人間関係を作り、信頼を深め、そこから親子ヨガやベビマ教室の依頼につなげている点です。一度依頼を受ければ、今度は担当者や先生の横のつながりで紹介され、次々と依頼が入るわけです。

そんな中澤さんがおっしゃるのは「行政は、親子行事の講師人財を求めている！」ということです。しかし、実際に頼むとなると誰でも良いわけではないので、それまでに人間関係が出来ている人であれば、市の担当者や先生も安心して頼めるわけです。

一つの活動で出来てきた人間関係が、別の活動に繋がり、また別の活動へとつながる。母親クラブや PTA の活動が、親子ヨガ教室につながり、さらにベビマ教室に繋がっている。この「つながり力」が、中澤さんの活発な活動の源ではないかと思います。

しかし、これだけではないのです。実は、中澤さんは、この「つながり力」を支え、拡げる別の 2 つの力を駆使しています。それが「企画力」と「提案力」です。人間関係が出来ている市の担当者や先生のニーズを読み取り、それに応えるような企画を立てて、それを上手に提案しているのです。市の担当者が、ヨガインストラクターやベビマインストラクターを探していたのではありません。「子育て支援事業として、何か定期的に出来ることはないか？」という漠然としたニーズを持っていただけでした。そこへ中澤さんが、親子ヨガやベビマを企画して提案しているのです。中澤さんが企画を立て提案する上で、もっとも注力したのは、「依頼者のニーズ」と「お母さんのニーズ」を組んで、両方が満足できるようにしたことだそうです。こうした「企画力」と「提案力」が、中澤さんの「つながり力」を加速させていたのです。

育児セラピスト 1 級では、子育て支援事業の企画をグループで作るワークをして、それを発表するのですが、これは、まさに満足度の高い「企画」と、その気にさせる「提案」を出来るようになるためのスキルを磨くことが狙いとなっています。つまり、「企画力」と「提案力」を磨くということです。中澤さんがやっていたのも、まさにこれです。

中澤さんのように、市や教育現場との人間関係をベースにした活動は、昔から行われてきたことですが、これほど多面的に活動を拡げられているという点が、非常に素晴らしいと思います。まさに「地域の子育て支援のハブ空港」と言えるでしょう。そして、この中澤さんの「つなげていく動き方」は、皆さんにとっても参考にしていただけるのではないかと思います。

医療・看護部門

松本 絢さん　整体師（奈良県）

取得資格

「独身男性の整体師から、頼りになる育児の先生へ」

松本さんは、元 ER（救急救命病棟）の看護師で、現在は、お母さんに特化した託児付き整体院の院長さんです。つまり、お客さんの多くは、子育て真っ最中のお母さんです。整体をしながら、お母さんの様々な悩みを聞いたりします。その多くは、子育ての悩みです。しかし、松本さんは、男性で独身です。整体を通して、体を元気にしてあげることは出来ても、子育ての悩みに答えてあげることはできません。仮にアドバイスしたとしても、独身男性の子育てアドバイスを納得してもらうことは、なかなか難しいわけです。

そこで、松本さんは、アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター資格を取得して、まずは基本的な育児の知識を学び、さらに、院内でベビーマッサージ教室を開催しました。そして、さらに育児の専門家としての知識とスキルを身に付けるために、育児セラピスト 1 級を取得しました。

お母さんにとって、ベビーマッサージを教えてくれる先生で、さらに育児の専門家である育児セラピスト 1 級の先生となれば、独身であることや男性であることは、問題ではなくなります。お母さんたちの松本さんへのイメージは、独身男性の整体師から、頼りになる育児の先生に変わります。

松本さんのように、自分の仕事に応じて、キャリア・イメージを変えるという発想は、非常に有効です。もちろん、それが資格という形だけのものでは、やがてボロが出てしまいます。当然、中身が大事になります。しかし、いくら育児における知識やスキルを持っていても、相応のキャリア・イメージが伴わないと、相手に聞いてもらうことさえできません。

松本さんが、素晴らしいのは、独身男性の整体師から、頼りになる育児の先生へと、よりお客さんに合うキャリア・イメージを獲得した事だけでなく、高いモチベーションで、育児という未知の世界の知識とスキルを吸収して、自分のものにしていることです。そこには、「整体院に来てくれるお母さんたちも、幸せなってもらいたい」という純粋な志を感じることができます。キャリア・イメージという優れた戦略と、純粋な志という両輪がしっかりと回っているところが、松本さんの素晴らしいところです。

実際、松本さんは、充分に満足のいくキャリア・イメージを獲得した後も、アタッチメント食育、あそび発達、と次々にお母さんたちが興味を持ちそうなものを学び、整体院で日々お母さんたちに教えています。さらに、それらを、よりうまく伝え、お母さんたちにもっとハッピーになってもらうために、心を癒すコミュニケーション術講座も受講されています。

松本さんの整体院で、お母さんたちのたくさんのハッピーが生まれ続けることを期待しています。そして、こうした民間の営利事業と共存する子育て支援事業が、良い結果を生み始めているということも、注目すべきことだと思います。

福岡 加奈さん　ベビーマッサージ インストラクター（兵庫県）

取得資格

「ベビマ教室をビジネス的な発想で運営」

福岡さんは、2007 年から活動されていて、アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクターとしては、第 4 期という最初期の頃の受講生です。8 年という長期間活動を続けてこられ、述べ 1000 組以上の親子に教えてこられたそうです。そんな福岡さんの活動のきっかけは、長女の出産だそうです。自分の子どもにベビーマッサージをやってあげるついでに、人にも教えてみよう、という感じでベビマ教室を始められていたそうです。

今では、生徒向けのテキストは、協会で用意されていますが、この頃はまだ、それもなかった時代でした。福岡さんのすごいところは、「ないものは作ればいい」と言って作ってしまうところです。お母さんに伝えるべき内容や、ベビマのやり方の図解などをインストラクター用テキストの中から抜粋し、手書きの生徒用テキストを作って、それを使って教室を運営していきました。こうした実行力は、福岡さんの活動の源なのだと思います。

こうして始まった福岡さんのベビマ教室ですが、どうやって、8 年間も続けてこられ、またどうやって 1000 組もの親子を集めることが出来たのでしょうか？そこに見えてきたのは、福岡さんの「経営者の目線」です。福岡さんは、自分のベビマ教室を、経営者のような目線で捉え、ビジネス的な発想で運営していかれていたことが、発表から伺うことが出来ました。

例えば「集客」「リピーター」という言葉が、発表の中で出てきます。つまり、「人に集まってもらうためには、何をすればいいか」という視点が集客です。さらに、「その集まってきてくれた人に満足してもらって、また来てもらう」という視点がリピーターです。これは、ビジネスの基本となる考え方です。さらに、「出来ないことは、それが得意な人に頼む」ということを強調されていました。つまり、この事業には何が必要で、そのうち自分には何が出来て、何が出来ないのかを明確化して、出来ない事について、それが出来る人材を確保し、滞りなく遂行してもらう、ということです。これは、組織マネジメントにおいて、リーダーが最も考えなければならないことです。つまり、こうしたビジネス的な発想を持ち、それを実践しているという点が、福岡さんの活動が長きにわたり、たくさんのお母さんに広まった最大の要因だと思います。

こうしてベビマ教室から始まった福岡さんの活動は、ベビマ教室だけにとどまらず、ママフェスの主催や育児サークル、そして子育てサロン事業へと発展しているそうです。まさにママ起業家と呼ぶにふさわしい実例だと思います。今後の益々のご活躍を期待しています。

2015 年 実践活動報告のご紹介

上原 理香さん　体育講師（大阪府）

取得資格

「『親子体操あそび教室』という新たな教室のカタチ」

幼稚園・保育園・子育て支援センターにて、体育指導・育児教室や親子イベントとして「親子体操あそび教室」や「ベビーマッサージ教室」を行っております。

『親子体操あそび教室』では、昨年の全国大会で取得した『あそび発達インストラクター』の資格を生かし、パパ・ママへ『遊びの関わりの重要性』や『具体的な遊び方』を紹介したり、実際に一緒に遊んでみたりしています。また『乳児体育あそび』では、第２のママ（保育士・体育講師の私など）が、安心と信頼の中で『乳児のココロとカラダの成長』を、ゆっくりと見守りながら遊んでいます。『あそび発達』と『体育あそび』は絶対にリンクしている！！と実感し、日々活動に取り組んでおります。

瀧川 亜希子さん　看護教員（兵庫県）

取得資格

「お母さんからの嬉しい声を励みに４年活動を続けてこられました」

兵庫県でベビーマッサージとマタニティーの教室を始めて４年が過ぎました。早いもので最初はたった１人のママとベビーちゃんに必死にベビーマッサージの事をお伝えして以来、おかげさまで今ではママの皆様からのリクエストで親子ヨガや離乳食講座もさせていただくようになりました。

本業を持つ私にとってお休みはお教室運営となかなか忙しく感じることも多いのですが、その中でも嬉しいお声をいただき大きな励みになっております。お教室のきっかけとなった孫も今では４歳と２歳になりました。毎日本当に充実した時間を過ごすことができています。

小西 佐知恵さん　子育て支援・珠算塾（福岡県）

取得資格

「ベビーマッサージやあやし歌で、赤ちゃんとの愛着を深めています」

北九州子育て支援団体 Humming bird という名で、市民センターや男女共同参画センターなどで乳幼児虐待防止、孤立育児支援、外遊びの推進等で活動しています。市の助成金を使用して、乳幼児虐待防止プログラム「IPPO」を、第１子が２～４か月の赤ちゃんを持つお母さんを対象に「はじめのいっぽ」という講座として開催していて、その中でベビーマッサージやあやし歌を楽しんでもらっています。

IPPO プログラムを知った時、自分が乳児を抱えて知らない土地で友人もいないまま、家にこもっていた時を思い出しました。自分の住む土地で何か社会貢献できればと思い、活動しています。乳幼児連れの子育て講座は多数ありますが、IPPO の特徴は参加した母子同士だけではなく、母親同士も深く繋がっていくところです。プログラムの中ではベビーマッサージやあやし歌で、赤ちゃんとの愛着を深めていくのですが、（社）日本アタッチメント育児協会の母子の愛着関係に対するスタンスは正に IPPO プログラムに合っています。

本郷 美保さん　看護師（福岡県）

取得資格

「引越ししてまた 0 から再スタートしました」

2014 年 5 月から長崎県大村市でベビーマッサージ教室をスタートしました。保育所や市主催の子育て広場、毎週開催のクラスなど 4 か所で定期開催し、年間 480 組以上の親子様へベビーマッサージ＆キッズマッサージ教室を通してご縁をいただいて、ようやくレッスンも毎回スムーズに集客から、開催までできるようになりました。

しかし､夫の転勤のため 2015 年 4 月より福岡へ引っ越し「ママとしてはじめて住む福岡 で 0 からの再スタート」をしました。また初心にもどり会場探し、告知、集客、開催、振り返りを繰り返しています。「良いものは必ず伝わっていくこと！」「それをまず知っていただくこと！」この一心で、チラシ配りから始めました。

現在では、福岡県の文化センターやショッピングモールでそれぞれ月に 2 回、また長崎県での教室も高速道路で通いながら継続しています。これからもお母さまの気持ちに寄り添って、ひとつひとつのお教室を大切にして開催していきたいと強く思います。

掛橋 恵さん　主婦（福岡県）

取得資格

「『育児のお話会』という気軽な形での子育て支援」

自宅で育児のお話会をしています。育児セラピストの資格を取りましたことを、友人知人が知りまして、ぜひ聞かせてくださいとのお声をいただいたので、活動をはじめました。4 ～ 10 人ほどでお茶会のような感じで気軽に来ていただいています。親子のコミュニケーションの大切さや、愛情ホルモン、幸福ホルモン、癒しのホルモンとして注目されているホルモン「オキシトシン」についてのお話をしています。お話をさせていただいた後には、育児の視点が変わったとか、もっと知りたいなどというお声をいただきます。

活動報告大募集！

インストラクター及び育児セラピストの皆様は普段、様々な活動やイベントをされているかと思いますが、事務局及び協会関係者は、皆様の活動をすべて把握する術がございません。そこで、当協会ではインストラクターの皆様が活動されている現場の活動報告を募集しております。

お寄せいただいた活動報告の中で、共有したい事例をホームページや会報誌等でご紹介させていただければと存じます。活動の様子の共有を通して、より多くの方の今後の活動のきっかけにさせていただきたいと思っておりますので、是非ご協力をお願いいたします。

応募方法　郵送またはメールにてご応募ください。形式は自由です。
応 募 先　（社）日本アタッチメント育児協会
郵送　：〒 460-0022　愛知県名古屋市中区金山 2-15-14　パックス金山ビル 4F
メール：info@naik.jp

ランチミーティング

今年も、ランチミーティングは、葉山の「3pm さんじ」さんにお願いしました。いつもながら、カラフルな色合いと、カワイイ見た目、自然な味付けで、今年も絶品でした。このカラフルさが、すべて自然の色であるというのが、いかにも好感が持てます。

今年は、東京と大阪で開催したわけですが、「大阪のランチは、どうする？」ということになりました。私としては、「3pm さんじ」さんのランチを是非とも提供したかったのですが、「3pm さんじ」さんは、神奈川県の葉山です。「さすがに大阪は無理だろう！」と思いつつ、ダメもとで代表の横田さんにお願いしてみたところ、なんと特別に大阪まで持ってきていただけるとのことで、大阪でも「3pm さんじ」さんのランチを提供することができたのです。横田さん、本当にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

例年は、ランチミーティングの席を地域別に分けていました。せっかく顔を突き合わせてお話しできる機会なので、その後に地元でも交流していただきたい、と願っての事なのですが、今年は、あえてそれをランダムにしてみました。ふたを開けてみると、ランダムな方が、会話が弾んでいる感じがしました。地域がらみの会話は、違う地域の人たちの方が弾むのかもしれません。しかし、私は、それ以上に「ランダムの偶然から生まれる必然の縁」の影響の方が大きかったのではないかと考えています。

講座でもそうなのですが、「たまたま隣に座った人」というのが、実は今の自分にとって、とても影響力の強い人だった、ということが少なくないのです。わかりやすい例で言うと、仕事に悩む新米保育士さんの隣にベテラン園長先生が座るとか、後身の育成に悩む中間管理職の看護師さんの隣に、同じく中間管理職の保育士さんが座るといったことです。お隣同士の縁で、いろいろ話していると、まさに「隣に座ってくれたのがこの人でよかった！」と思えるようなことが起こるのです。こうしたことは、「ランダム性」のなせる業といえます。それに、「3pm さんじ」さんの美味しい料理が加わって、会話が弾んだのでしょう！

ちなみに、地域同士のつながりについては、つながるべき人とは、休憩時間などにグループを超えてつながっている光景が見られました。

参加者の声

いろんな業種の方とお話しすることができ、アタッチメントを伝える方法は一通りではないことがわかりました。私は現場での保育経験がありませんが、それでもやれることがわかり、勇気をもらいました。
（学生 26歳 東京都）

同じような境遇の方と偶然お会いして、大きな縁や人と人とのつながりの大切さを感じました。ネットワークや知識の幅も広がり、自分も癒され、パワーをいただけました。
（看護師 埼玉県）

グループワーク　「キャッチコピーで人を集めよう」

毎年、ランチで楽しく会話した後は、同じメンバーでグループワークに取り組みます。今年のワークは「キャッチコピーで人を集めよう」でした。

育児セラピストのみなさんは、子育て支援の企画やイベントを立てて実行することも多いと思います。そうした企画やイベントを実行する際に、どこにもっとも力を入れて企画を作りますか？

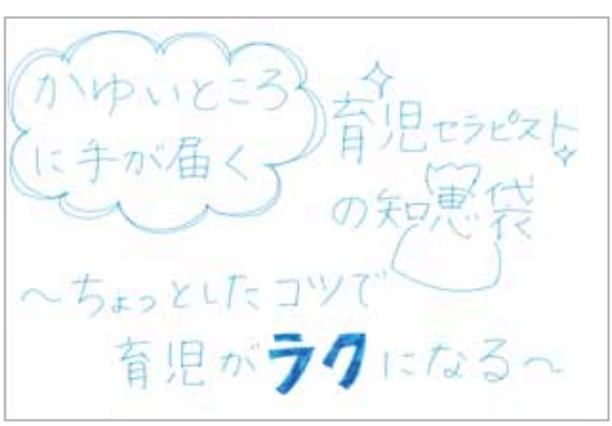
多くのみなさんは、「何をやるか」を最初に決め、そしてそれに最も力をいれるのではないでしょうか？

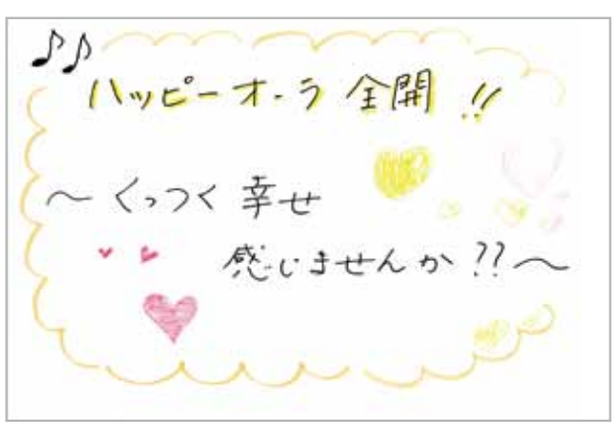
しかし実際のイベントでは、その前に、たくさんの人に来てもらわなければ、はじまりません。そして、「たくさんの人に来てもらう」ために重要なのが、キャッチコピーなのです。キャッチコピーが魅力的であればあるほど、人は、たくさん集まります。この「最高のキャッチコピーを考え尽くす」という作業は、意外にも見過ごされがちで、「わかりやすくて一般的なネーミング」がなされることの方が多いのです。

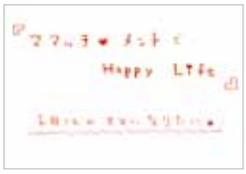
そこで今回は、ネーミングの重要性に気付き、『思わず目をとめて読んでしまう』『私のための企画だ！と思わせる』渾身の一作と言えるキャッチコピー（企画名）と、『その企画の内容を簡潔に伝える』『どうしても行きたくなる』キャッチフレーズ（一行広告）を作るワークを行いました。

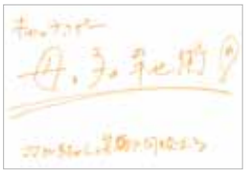
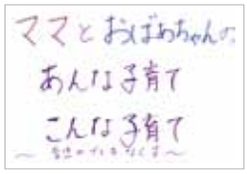
実際に、グループで考え抜いて、それらを順番にまとめていくと、短時間で驚くほど完成度の高いキャッチコピーとキャッチフレーズが完成しました。その成果もここでご紹介いたします。

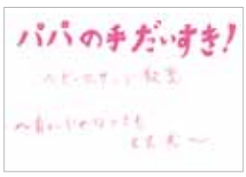
東京会場









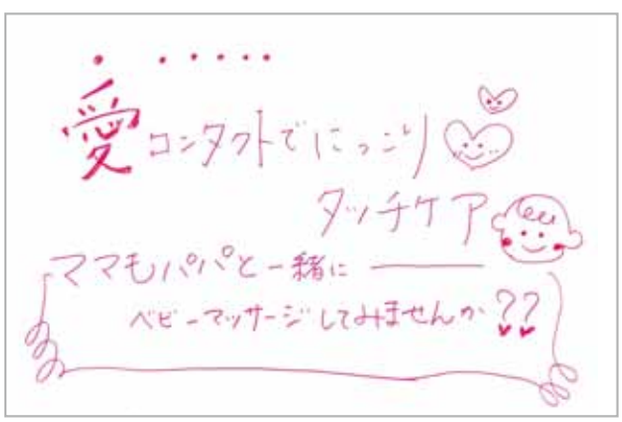
実際に参加者が考えたキャッチコピー＆キャッチフレーズ

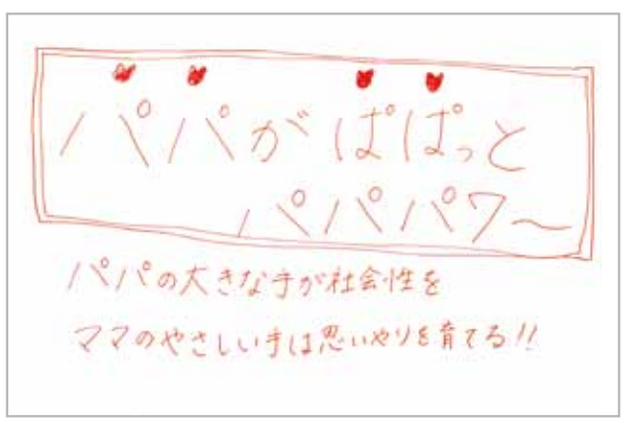
- かゆいところに手が届く　育児セラピストの知恵袋　〜ちょっとしたコツで育児がラクになる〜
- ハッピーオーラ全開！！　〜くっつく幸せ感じませんか？？〜
- 『ママッチ♡メントで…Happy Life』お母さんのママになりたい♡
- 母と子の幸せ術！ママが赤ちゃんと笑顔で向き合える
- ママとおばあちゃんのあんな子育てこんな子育て　〜育児のブレをなくす〜
- めざせヒーロー　アタッチ Men とパパ　〜体を使って子どもと思いっきり遊ぼう！！〜
- レッツ・エンジョイ孫育て　〜触れ合い遊びを通して
- パパの手だいすき！ベビーマッサージ教室　〜育メンじゃなくても大丈夫〜
- 『チームがっちり家族』 パパしかできないことがある！　ママしかできないこともある！
- ママ〜ウンチでたよ！
- 食べる楽しむ　〜 Enjoy Eating 〜

東京会場（淑徳大学）での集合写真

大阪会場

一般社団法人
日本アタッチメント育児


愛コンタクトでにっこり
タッチケア
ママもパパと一緒に
ベビーマッサージしてみませんか??


パパがぱぱっと
パパパワ〜
パパの大きな手が社会性を
ママのやさしい手は思いやりを育てる!!

実際に参加者が考えたキャッチコピー＆キャッチフレーズ

・愛コンタクトでにっこり♡タッチケア
　ママもパパと一緒にベビーマッサージしてみませんか？？
・パパがぱぱっとパパパワー　～パパの大きな手が社会性を ママのやさしい手は思いやりを育てる！！～
・赤ちゃんがつなぐママの『わ』 初めてでも安心♡　ベビーマッサージ
・家族でスクラム！！今日からあなたも五郎丸！　～家族がチームになれる ふれあいマッサージ～
・ぐずぐずちゃんからにこにこちゃんに！つられてママもにっこにこ！！　～Let's ベビマで Happy 育児～
・Let's cooking ！！愛♡孫食　～おふくろの味より爺婆（じいばあ）の味～
・ーママ活ー　わが子はどこだ！？
　おうちではできないあそびを通して、子どものキラキラスマイルをひき出そう！あそびのヒントみつけよう♡
・おとうさん、出番ですよ！　ママ力・パパ力ＵＰ！！
・笑顔　ふれあいマッサージ　パパＬＯＶＥちゅうにゅう～♡
・ママにもサンタがやってくるよ！
・ベビーとタッチで Happy がイッパイ♡〝ベビーマッサージでお互いの「好き♡」を届けよう〟
・eye コンタクトで愛ある子育て　生後 1 ヶ月から始めるベビーマッサージ

大阪会場（宝塚大学）での集合写真

参加者の声

自分に何ができるか模索中だったので、グループワークを通して皆さんと交流が持てて、いろんな気づきがもらえました。ありがとうございました。
（看護師 36 歳 東京都）

キャッチコピー作りは、自分の教室開催のときにヒントになるので、うれしかったです。
（助産師 40 歳 東京都）

グループワークでは、75 歳の方の「まだまだアタッチメントを広めていきたい」という言葉に感銘を受け、私もやる気が出ました。
（主婦 40 歳 東京都）

自分に子育てに役立てるために参加しましたが、企画を考えていたら「あったらいいな」「こんなことをやってほしいな」と言うものがたくさん思い浮かんで、自分でイベントを開催するのも楽しそうだなと興味が持てました。
（会社員 32 歳 東京都）

大阪は初でしたが、東京とは雰囲気も違い、発想の違いもあり、楽しいグループワークでした。
（看護師 広島県）

同じグループで出会った方とのつながりができました。今後も関係が続いていくといいなと思います。
（京都府）

公開教室

例年通りと言っても、常に新たな試みをするのが「われわれ流」です。今年も、新しい試みとして、「公開教室」を開催しました。多くの方に、実際の教室を見学してもらう機会を作るために、本物の教室を開催して、それを見学してもらえるようにしました。教室は 4 種類、「あそび発達」「アタッチメントジム・キッズマッサージ」「アタッチメント・食育」「アタッチメント・ヨガ（マタニティヨガ）」です。

熊谷 れい子先生

あそび発達

あそび発達教室は、アタッチメント形成を促す幼児教室で、豊かな知能の土台を育む幼児教育です。公開教室では、実際に 1 ～ 3 歳の親子 6 組に参加してもらい、教室の一日を再現しました。講師は、あそび発達のインストラクター養成講座も担当している熊谷先生です。ベビマのインストラクターの方にとっては、知能系の幼児教室の進め方を、具体的にイメージしていただけたと思います。

自己紹介をして協調性や社会性を養う

左右に揺れて体のコントロール力を高める

脳の髄しょう化についてわかりやすく図解

ビリビリ遊びで音を楽しみながら指先の訓練

参加者の声

とても参考になりました。どんな状況になっても先生がニコニコ笑顔でやっておられたので、「さすが！」の一言です。その状況を生かして次の動きに入ることができるよういろんな引き出しを作り、何かあったらその引き出しをあけられるよう、勉強していきたいと思います。

（保育士 55 歳 千葉県）

講義を受けてもそれを実際の子どもがどれくらいできるのかということが自分の中で見えてこず、実際の教室を見たいとずっと思っていたので、今回の企画は迷わず参加しました。

（保育士 52 歳 三重県）

大塚 一恵先生

アタッチメント・キッズマッサージ

アタッチメント・ジム

ベビマの次に学ぶ講座として一番人気です。これも、保育園や病院、児童館、子育て支援センターなどで、様々な形で取り入れられていますが、今回の公開教室では、キッズマッサージとアタッチメント・ジムの両方のメソッドを取り入れた教室を、同じく 1 ～ 3 歳の親子 6 組に参加してもらい再現しました。講師は、キッズマッサージ＆アタッチメント・ジムのインストラクター養成講座も担当している大塚先生です。ベビーマッサージの次の営みを提供する教室運営のイメージを感じ取っていただけたことと思います。

アタッチメント・ジムで運動感覚と認知機能を高める

バランス遊びで身体意識を鍛える

キッズマッサージで親子のアタッチメントを育む

ママと一緒に親子体操で「できたよ！」の自信

参加者の声

自分が行っているときだったら…と考えながらみることができ、また「服を着たまま気軽にマッサージでも良い」など気づきや学びも多くとても参考になりました。

（55 歳 埼玉県）

インストラクター資格を取得してから年数が過ぎてもなかなか勇気が出ず、前に進めていなかったのですが、公開教室を見学して、どんな風に教えたらいいのかのヒントをいただきました。

（主婦 40 歳 神奈川県）

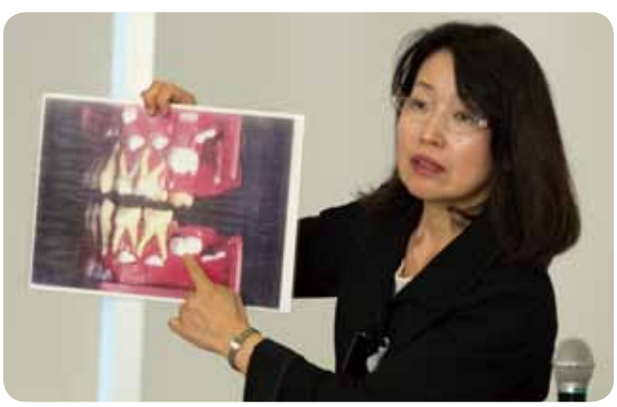
権 かおり先生

アタッチメント・食育

親が子育てのために学んでおきたい食育であり、心理学を背景に、食の舞台での子どもの成長を学ぶのがアタッチメント食育です。心理学、栄養学、歯学の３本柱で構成されており、今回は、その中でも、食育の講座としては、非常に特徴的な「歯学」のコンテンツを中心に、お伝えしました。講師は、アタッチメント食育インストラクター養成講座も担当している権先生です。意外と知らない虫歯のメカニズムや、よい歯を育てるための日常の心掛け、また歯を見れば親子関係が見えてくる話など、興味深い話が盛りだくさんで、子育て支援の現場で開催する「食育セミナー」のイメージを描いていただけたことと思います。

アタッチメント食育の大切さを学ぶ

食事のバランスや間食の必要性についての講義



乳歯と永久歯の関係性についての説明

虫歯のメカニズムを知って納得する受講生たち

参加者の声

実際に参加する教室は先生の所作、動きなどじっくりと見ることができてとても良かったです。自分の教室の振り返りで学べました。
（インストラクター 40歳 愛知県）

食育講座の中でも歯学は不得意で、どのように話したらよいかわからなかったが、おかしの食べ方など問い合わせが多いので、知れてよかったです。
（看護師 40歳 奈良県）

島田 恭子先生

アタッチメント・ヨガ

妊婦さんと胎児をつなぐマタニティ・ヨガであり、ママと赤ちゃんで一緒に行うベビー・ヨガです。アタッチメント・ヨガは、ヨガを心理学で解釈し、心理学をヨガで感じるメソッドで、呼吸法を中心に、妊婦さんの体に負担をかけない安全なポーズで構成されているのが特徴です。講師は、アタッチメント・ヨガのインストラクター養成講座も担当している島田先生と早川先生が、２クラスをそれぞれ担当しました。こちらで意図したわけではないのですが、東京会場の２クラス、そして大阪会場のクラスでも、すべてのクラスで本物の妊婦さんが参加してくれたので、参加者は、マタニティヨガクラスの雰囲気そのものを体験していただくことが出来ました。

早川 貴子先生

子宮のむすびで赤ちゃんとの一体感を感じる

ハミングブレスでお腹の赤ちゃんと語り合う

呼吸を大切にして心も体もリラックス

参加者の声

久しぶりにヨガをしました。子どもがお腹の中にいるときのことを思い出しとてもリラックスしました。アタッチメント理論を生かしたヨガは産前から子どもとの絆が育まれていいなと思いました。

（看護師 40歳 奈良県）

ヨガはとてもリラックスしました。お腹の中にいるときからのアタッチメントのお話、お母さんのリラックス、赤ちゃんとの対話など改めて大切なんだと実感しました。

（主婦 35歳 滋賀県）

～ スタッフ あとがき ～

伊藤 瑛美

今回初めて東京と大阪の２会場で開催しましたが、今年は一緒に講座を受講した同期と再会できた方もいらっしゃり、これから活動を一緒にできそうな仲間を見つけられた！との声もいただき、２会場で開催して本当によかったと思いました。

スタッフとして毎年参加させていただいておりますが、毎年お顔を見かける方はもちろん、メールやお電話でしかお話させていただいたことのない方と直接お会いすることができ、近況なども聞かせていただけてとてもうれしかったです。来年も皆さまにお会いできるのが今から楽しみです。

今井 香保理

今回は、初めての２会場での開催でしたので、いつもより多くの方に直接お会いしてお話ができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。皆様のご活動は昨年よりも更に進化しており、お教室のチラシを見せて頂いたり、様々な工夫のされたお教室のお話をお聞かせ頂き、私にとっても大変刺激になりました！また今回は、「実際の教室を見てみたい」という皆様の声を受け、初めての「公開教室」も実現しました。今後も「こんなことをして欲しい」というご意見ございましたら是非お教えください！今後の全国大会も、皆様にとって有意義な学びの場となるよう、色々なことに挑戦していきたいと思います。

梅原 礼子

東京会場にて司会を務めさせていただき、今回で３回目の司会となりましたが、いまだに慣れず、至らない点も多々あったかと思いますが、皆様のご協力で無事終えることが出来ましたことを心よりお礼申し上げます。全国大会２日目には、初めての試みで「公開教室」が開催され、見学だけでなく、実際に皆様に体験して頂いたりと、例年以上に活気にあふれた会になったと感じました。また、モデル親子のお子さま、お母さん方、本当にお疲れ様でした！ご協力、誠にありがとうございました。また、次回、皆様にお会いできることを今から楽しみにしております。

瀧沢 貴浩

スタッフとはいえ、こういったイベントに毎年参加できることは大変幸運だと感じています。それほど参加者の方々の育児支援に対する想いや、行動力の強さには毎年多くのことを学ばせていただいております。参加される方の中には、どんな様子かちょっと参加してみようという方もたくさんみえますが、まわりの熱い想いに触れることで、火がついたかのように熱が高まり、閉会式が終わるころには「本当に参加して良かった！」と活き活きとした表情をされています。全国大会では、様々な想いを持った方々との交流を通じて「明日からなにか行動してみよう」という自信や勇気をもらうことができます。「まだ活動していない自分が参加してもついていけないかな……」という不安をお持ちの方こそ、ぜひとも今年は参加をご検討されてはいかがでしょうか。

日本アタッチメント育児協会　公式ブック

全国の書店・amazon.jp にて発売中！

アタッチメント・ベビーマッサージ

～感性豊かで幸せな子どもに育つ～

廣島 大三（著）/ 寺下 謙三（監修）/ 保健同人社（出版）

標準価格：1,200 円（税別）

赤ちゃんが生まれたら、ベビーマッサージを始めてみたい、と思っているお母さんは少なくありません。ベビーマッサージはオイルを使って、お母さんの手で赤ちゃんにマッサージをすることですが、大切なのは、お母さんと赤ちゃんの絆をしっかり結ぶことです。本書では、発達心理学の観点から、お母さんと赤ちゃんのアタッチメント（愛着関係）をしっかり作り、情緒豊かな「幸せな子ども」に育てるためのベビーマッサージを紹介します。

６歳までのアタッチメント育児

子どもを伸ばす　愛情の表し方・与え方８つのメソッド

廣島 大三（著）/ 合同出版（出版）

標準価格：1,400 円（税別）

親子の「アタッチメント（＝愛着関係）」を育めば、子どもをもっと愛せる、子どもはもっと Happy ！になる。親が親として成長し、ストレスがやりがいに変わる！心やさしく、知的好奇心にあふれた、頭の良い子どもが育つ！アタッチメント育児に Let's トライ！アタッチメント理論の基本概念から、親子の日常での営みの中でアタッチメントを育む具体的メソッドまで。

一般社団法人 日本アタッチメント育児協会の講座一覧

保育士や看護師、子育て支援施設など、育児にかかわる仕事に就業している方たちを主な対象として、
下記のような講座を企画・運営しています。

アタッチメントを伝えるための講座

ABM アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター

ベビーマッサージ本来の効果である、『アタッチメントの形成』を重要視し、発達心理学をベビーマッサージに応用して、メソッド化した、【ABM アタッチメント・ベビーマッサージ】。お母さんが、生まれたばかりの赤ちゃんと、心を通じあわせるためのアタッチメント・ベビーマッサージを伝えていく、協会認定のインストラクターを養成します。

アタッチメント・ヨガ インストラクター

妊婦さんとおなかの赤ちゃんが、ヨガを通して妊娠期からアタッチメントを育むことにより、マタニティブルーや産後うつなどが軽減され、良好な母子関係が育まれるマタニティ＆ベビーヨガです。メソッドは、Studio＋Lotus8監修のもと、呼吸法をメインとした体に負担をかけないポーズで構成され、妊婦さんが、安心して取り組めます。この講座では、ヨガを心理学の観点から学び、豊かな母子関係を育むことを導くヨガインストラクターを育成します。

あそび発達インストラクター

子どもの発達とイコールの関係にある「あそび」。乳幼児期、児童期の「あそび」は、子育てそのものであり、教育そのものです。この時期に「あそび」によって育まれた資質は、知的好奇心や応用力、問題解決力、論理構築力といった将来の学習能力の土台となります。単なる訓練的な幼児教育ではなく、そうした子どもにとって「本質的なあそび」を、発達段階に合わせて体験させるための幼児教育としての「あそび」を導くインストラクターを養成します。

アタッチメント・食育 インストラクター

「食べる」ことと、「人間成長（心理学）」は、直接につながっています。そこで、『「食育」＋「心理学」＝アタッチメント食育』を掲げ、子育てをする親に伝えるべき「子どもの成長、発達のための食育」を、心理学的バックグラウンドのもとに学びます。「心理学」、「栄養学」、「歯学」という食を支える３つの要素を通して、「食の舞台」で子どもをどう育てるとよいのかを、親に伝えるための専門知識とスキルを学んだ食育インストラクターを養成します。

発達心理学に基づく 育児の専門家になるための講座

育児セラピスト 2 級

育児や保育の実践者として、発達心理学やアタッチメント理論の基礎を学び、明日からの育児に活かす実践的な知識とスキルを身に付けます。また、セラピーにおける「心の癒し」の基本を体験的に学ぶことが出来ます。また、この資格は、「育児の専門家」として、親を教え導く「育児セラピスト１級」資格取得のための基礎資格となっています。

育児セラピスト 1級

育児セラピスト１級は、２級で身に付けた実践的知識やスキル、体験について、学術的根拠と裏づけを、専門的に学びます。また、「育児の専門家」として、専門性を持った活動をしていくための知識とスキルと方法論を身に付けます。

育児セラピスト シニアマスター

育児セラピスト最高位の資格であり、「育児の専門家」として、子どもだけでなく、親やスタッフ、同僚などの大人に対してもコミットしていけるだけの高度に専門的な知識やスキルを幅広く修めます。そのために、子どもの発達だけでなく、思春期の青年から、成人した大人、中年期、老年期の大人までの「生涯発達」を学びます。さらに、人間関係を円滑にするスキルや、コミュニケーションを高めるスキルにおいて、さらに高度に学ぶことが出来ます。この資格は、保育、看護、育児支援施設など、育児支援に携わる分野における指導的立場の方のための、スタッフマネジメントにおけるスキルアップ資格でもあります。

日本アタッチメント育児協会 トレーナー

講師や講演家として「教える」スキルを専門的かつ実践的に学び、これまでに修得してきた知識とスキルを伝える、後進の育成についても活かせる資格です。

ワンランク上の知識とスキルを 身につけるためのスキルアップ講座

AKM アタッチメント・キッズマッサージ インストラクター

ABM アタッチメント・ベビーマッサージインストラクターの上級資格であり、ベビーマッサージを卒業した１歳から、６歳までの子どもとお母さんが取り組める営みとしてキッズマッサージを教える資格です。講座では、つぼを中心とした症例別のマッサージを学んでいただきます。また体と心が少しずつ成長していくキッズのための特別なアタッチメント・マッサージもご紹介します。

AGM アタッチメント・ジム インストラクター

０歳～６歳の子どもと親が取り組む、アタッチメントを育む、発達段階に応じた親子体操を教える資格です。運動科学におけるキッズ体操と心理学におけるアタッチメント理論を結び付けて体系化した親子体操（アタッチメント・ジム）を学んでいただきます。

活動をさらに広げるための 1DAY セミナー

教室運営力アップセミナー

この講座では、教室を永続的に、安定して運営するために必要なビジネスの知識を学びます。また、事例研究として、保育園、産院、個人教室、子育てサロン、整体院など、営利、非営利、公、私さまざまな事例を扱います。

心を癒すコミュニケーション術セミナー

モンスターやクレーマーなど「対人関係」の問題は、いまやどこの現場にも存在します。しかし、コミュニケーションの原理原則を知り、少しの専門知識とスキルを持っていれば、多くは回避でき、さらに相手に癒しを与えることさえできます。これを学ぶ一日講座です。

（社）日本アタッチメント育児協会
認定養成校のご紹介

◆

（社）日本アタッチメント育児協会は、大学をはじめとする教育機関を「認定養成校」として認定し、大学カリキュラムとして講座コンテンツを提供し、各学内において、アタッチメント・ベビーマッサージ、アタッチメント・ヨガをはじめとする各種インストラクターや、育児セラピストの養成を行っています。

現在は、淑徳大学短期大学部 こども学科と、宝塚大学 看護学部助産学専攻科の 2 校が認定養成校になっており、それぞれの大学の学生は、卒業時（指定単位取得の上）に、保育士資格や助産師資格と併せて、アタッチメント・ベビーマッサージ、アタッチメント・ヨガ インストラクター資格や育児セラピスト 1 級資格を取得します。

淑徳大学短期大学部 こども学科

導入資格

「アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター」
「育児セラピスト 1 級」

保育士、幼稚園教諭を養成する子ども学科にて導入。カリキュラムにおいては、「育児学」を、２単位の選択必修科目として新たに設定し、両資格の専門コンテンツを教授します。
そして「育児学」を含む、指定科目の単位を修得した学生は、卒業時に保育士資格と共に、当協会認定の上記資格を取得します。

宝塚大学 看護学部助産学専攻科

導入資格

「アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター」
「アタッチメント・ヨガ インストラクター」
「育児セラピスト 2 級」

同大学　看護学部に平成 26 年 4 月に新たに開設された助産学専攻科で導入。カリキュラムには、「アタッチメント・ベビーマッサージ」と「アタッチメント・ヨガ」を各 2 単位、計 4 単位の選択科目として新たに追加しています。これらの単位を修得した学生は、卒業時に助産師資格と共に、当協会認定の上記資格を取得します。

大学での認定養成校は、卒業する学生の就職に、有利な資格を与える機会を作るだけでなく、大学として、より現場に貢献できる学生を、社会に送り出すことにもつながっており、さらに、そうした資格が学内のカリキュラムで取得できる大学として、入学希望者の増加にもつながっています。

当協会は、今後も教育機関と連携を取り、こうした養成校の認定を、他の地方でも進める所存です。

淑徳大学短期大学部は、人を支えたい、社会を支えたいと願うあなたのための学びの場です。
人の幸せとは何か、より良い社会とは何かを考え、人と社会を支える力を身につけていきます。
自らを耕し、学び続ける姿勢。
幅広く社会を考えることもできる視野の広さ。
そして他人を思いやれる心。
この3つの力が、あなたと未来をつなぐ絆になります。

「ABMアタッチメント・ベビーマッサージインストラクター」「育児セラピスト」（社）日本アタッチメント育児協会認定養成校

SHUKUTOKU

淑徳大学短期大学部

Shukutoku University Junior College

- こども学科（保育士、幼稚園教諭養成）
- 健康福祉学科
  社会福祉コース（社会福祉士、介護職員初任者研修養成）
  介護福祉コース（介護福祉士養成）
  医療事務・秘書コース（医療事務従事者養成）

Information

〒174-0063 東京都板橋区前野町 2-29-3　Tel 03-3966-7637（東京アドミッションセンター）　http://www.jc.shukutoku.ac.jp/

確かな助産技術と豊かな人間性を育む

宝塚大学

看護学部・助産学専攻科

【お問い合わせ先】入試課

0120-580-007

本専攻科は（社）日本アタッチメント育児協会より養成校としての認定を受けています。

大阪梅田キャンパス

- Ⓐ 阪急「梅田」駅 茶屋町口より徒歩約5分
- Ⓑ JR「大阪」駅より 徒歩約10分
- Ⓒ 地下鉄「梅田」駅より 徒歩約10分
- Ⓓ 地下鉄「中津」駅より 徒歩約5分

〒530-0012 大阪市北区芝田一丁目13番16号

監修・発行：一般社団法人 日本アタッチメント育児協会

URL：https://www.naik.jp　　E-mail：info@naik.jp
〒460-0022　愛知県名古屋市中区金山 2-15-14 パックス金山 4F
TEL：052-265-6526　　FAX：052-265-6529

・2016 年 3 月 9 日　第 1 刷発行